

一般高齢者アンケート(水色)設問について

高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会	
R2. 5. 29	資料4-2

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項目 ○：オプション	市独自 設問	過去から の継続
1	アンケートを記入されたのはどなたですか。	基本項目	◎		○
2	ご本人の性別をお教えてください。			○	○
3	令和2年1月1日現在の、あなたの年齢を教えてください。			○	○
4	ご本人のお住まいの地域を教えてください。			○	○
5	ご本人は、現在、要介護（要支援）認定を受けていますか。			○	○
6	家族構成を教えてください。	世帯状況や地域分布を把握し、世帯構成別の回答結果より事業対象者・対象地域・実施内容の検討に活用する。	◎		△
7	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	要介護状態となる前の高齢者の介護の必要度を把握する。	◎		○
8	介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。	要介護状態になる前の高齢者の介護・介助が必要になった原因を把握する。	○		△
9	主にどなたの介護・介助を受けていますか。	要介護状態になる前の高齢者の介護・介助の実態を把握し、地域課題を把握する。	○		○
10	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	事業の対象者・対象地域・実施内容の検討に活用する。	◎		△
11 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握し、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討に活用する。 ※ (4) (5) では転倒リスクも把握する。	◎		△
11 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。		◎		△
11 (3)	15分位続けて歩いていますか。		◎		△
11 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。		◎		△
11 (5)	転倒に対する不安は大きいですか。		◎		△
11 (6)	週に1回以上は外出していますか。	閉じこもりリスクを把握し、地域分布を把握する。	◎		△
11 (7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。		◎		△
12	外出を控えていますか。	閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握する。	○		○
13	外出を控えている理由は次のどれですか。		○		○

一般高齢者アンケート(水色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問 ◎：必須項目 ○：オプション	市独自設問	過去からの継続
14	外出する際の移動手段は何ですか。	外出の際の移動手段を把握する。	○		○
15	あなたが1人で外出できる範囲はどこまでですか。(移動手段は問いません。)	1人で外出できる範囲を把握する。		○	—
16 (1)	身長・体重	低栄養の傾向を把握する。	◎		○
16 (2)	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	フレイルの状況を把握する。	○		—
16 (3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を把握する。	◎		○
16 (4)	お茶や汁物などでむせることがありますか。	口腔機能の低下状況を把握する。	○		○
16 (5)	口の渇きが気になりますか。	口腔機能の低下状況を把握する。	○		○
16 (6)	歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)	口腔の健康状態や義歯の使用状況より、地域の歯科医療や口腔機能向上に関するニーズを把握する。	◎		△
16 (7)	定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか。	歯科受診(健診)の状況を把握する。		○	○
16 (8)	どなたかと食事をともにする機会はありますか。	閉じこもり傾向と孤食の関係を把握する。	◎		△
17 (1)	物忘れが多いと感じますか。	認知機能低下の地域分布を把握する。	◎		△
17 (2)	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	日常生活能力(IADL)を把握する。	◎		○
17 (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。		◎		○
17 (4)	自分で食事の用意をしていますか。		◎		○
17 (5)	自分で請求書の支払いをしていますか。		◎		△
17 (6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。		◎		△
17 (7)	趣味はありますか。		社会参加と関係性を把握し、社会参加する高齢者の傾向を把握する。	○	
17 (8)	生きがいがありますか。	○			△
18	現在の生活で困っていることは何ですか。	介護保険サービス以外に必要な生活支援サービスを把握する。		○	△
19	困ったときに、家族や友人以外で相談する相手を教えてください。	地域の相談窓口の活用状況を把握する。		○	△

一般高齢者アンケート(水色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問 ◎：必須項目 ○：オプション	市独自設問	過去からの継続
20	今後も自分の希望する場所で暮らしていくためには何が必要だと感じていますか。	希望する場所で暮らしていくために何が必要と考えているのかを把握する。		○	—
21	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ①ボランティアのグループ ②スポーツ関係のグループやクラブ ③趣味関係のグループ ④学習・教養サークル ⑤介護予防のためのつどいの場 ⑥老人クラブ ⑦町内会・自治会 ⑧収入のある仕事	社会参加の状況を把握する。	◎		△
22	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	地域づくりへの参加意向を「参加者として」「お世話役として」把握する。	◎		-
23	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。		◎		-
24	見守りや介護が必要な人に対してボランティア活動などをしてみたいと思いますか。	今後生活支援サービスを充実させていく上で、生活支援の担い手となる人が、どの地域にどの程度いるのかを把握する。		○	○
25	お住まいの地域にいきいき百歳体操ができる会場がありますか。	いきいき百歳体操の認知度を把握する。		○	—
26	参加していない理由は、次のどれですか。	参加していない理由を調査し、普及啓発の必要性を把握する。		○	—
27	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。	たすけあいの状況を把握することで、地域のうつ	◎		○
28	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。		◎		○

一般高齢者アンケート(水色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問 ◎：必須項目 ○：オプション	市独自設問	過去からの継続
29	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。	傾向の発生状況を間接的に把握する。	◎		○
30	反対に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。		◎		○
31	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	主観的な健康観を問う質問をし、地域の健康度のアウトカム指標として活用する。	◎		○
32	あなたは、現在どの程度幸せですか。	うつ傾向との関係性から、地域の健康度のアウトカム指標として活用する。	◎		—
33	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	うつ傾向を把握する。	◎		—
34	ここの1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	うつ傾向を把握する。	◎		—
35	お酒は飲みますか。	健康寿命に影響を与える本項目と他項目の関係性を把握し、地域特性を把握する。	○		○
36	タバコは吸っていますか。	健康寿命に影響を与える本項目と他項目の関係性を把握し、地域特性を把握する。	◎		○
37	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	認定を受けていない高齢者の既往を把握し、要介護状態になる原因等の地域課題を把握する。	◎		○
38	治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいですか。	人生の最終段階に対する考え方を把握する。		○	—
39	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。	人生の最終段階に対する考え方を把握する。		○	—
40	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	—
41	このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。	ACPについての賛否を把握する。		○	—

一般高齢者アンケート(水色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問 ◎：必須項目 ○：オプション	市独自設問	過去からの継続
42	あなたは、自分が意思決定できなくなったときに備えて、どのような医療・療養を受けたいか（受けたくないか）などを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについてどう思いますか。	意思表示の書面作成についての賛否を把握する。		○	—
43	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合う（人生会議を実践する）時期があるとすれば、いつごろが適切な年齢だと思いますか。（話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。）	ACPを実践するのに適切と考える時期を把握する。		○	—
44	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。（話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか。）	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	—
45	あなたは、「かこリンク」を知っていますか。	在宅医療・介護連携推進事業の認知度を把握する。		○	—
46	認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。	認知症の方の割合を把握する。	◎		—
47	あなたは認知症になることを想定して、備えをしていますか。	認知症はだれもがなりうる病気であるとの当事者意識の有無を把握する。		○	—
48	認知症に関する相談窓口を知っていますか。	認知症に関する相談窓口の認知度を把握する。	◎		—
49	加古川市では、認知症の基礎知識や認知症の人への接し方を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を開催していますが、知っていますか。	認知症に関する事業の認知度を把握する。		○	—
50	今後、市が認知症対策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。	認知症に関する今後必要な施策を探る。		○	—

一般高齢者アンケート(水色)設問について

設問番号	設問	考え方	国設問 ◎：必須項目 ○：オプション	市独自設問	過去からの継続
51	介護を受ける場合、どのような場所を希望しますか。	看取りの考え方について把握する。また、施設整備の参考とする。		○	○
52	今後、高齢者の増加に伴い、介護サービスを利用する人の増加が見込まれています。その結果、保険料が高くなる可能性があります。保険料と介護サービスの関係について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。	介護保険サービスと保険料の考え方を把握する。		○	○
53	現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて教えてください。	地域の中で介護保険サービス以外の支援・サービスがどの程度利用されているかを把握する。		○	—
54	市内に地域包括支援センターがあることを知っていますか。	地域包括支援センターの認知度を把握する。		○	○
55	地域包括支援センターでは以下のような業務を行っています。どのような業務内容を知っていますか。	地域包括支援センターの認知度だけでなく、業務内容の認知度も把握する。		○	○
56	日常生活自立支援事業について知っていますか。	事業の認知度を把握する。		○	—
57	成年後見制度について制度の概要を知っていますか。	成年後見制度の認知度を把握する。		○	—
58	将来の自分について不安なことはどんなことですか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	—
59	成年後見制度を利用した場合、以下のようなことを支援することができますが、どのような内容を知っていますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	—
60	(上記設問選択肢のような)支援をしてくれる成年後見制度の利用についてどのように考えますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを持つ方の、準備についての考え方を明らかにする。		○	—